

登録ボランティア おおいに語る

ボランティアのやりがい・

もっと広げるためには・・・



厚生省でも「国民に二人に一人をボランティアに」という意見が出され、平成のボランティアブームともはやされているこの昨今。今回は、しっかりと足を確立しながら活動しているボランティアにお集りいただき、ボランティア自身のやりがいや、活動を広げる方法をお話いただき

活動のきっかけ、やりがいについてお話し下さい。



左から中谷さん、山吹さん、谷戸さん、藤さん

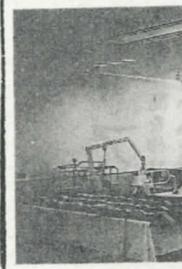
座談会メンバー

- ・土屋宏士(ステッキ代表)
- ・竹内智世子(みちしるべ会員・生協ともしび代表)
- ・酒井道子(みちしるべ会員)
- ・前田泰子(聴く会の会員・市高齢福祉課ヘルパー)
- ・林暢子(みちしるべ会員)
- ・谷戸忠彦(聴く会の副代表)
- ・山吹壽(豊中アッシュ代表)
- ・中谷珠恵(小さな手会員)

定年後 生き甲斐見つけ 留守がよい 修了証 十枚たまれば ハワイ行き? ボランティア

他人のため尽くして 汗もかき 恥もかきつつ ボランティア してまんねん がされてま んねん ボランティア

ボランティア入院しながら 他人のことばかり気になる ボランティア 雨乞いにボランティアまで かり出され



ボランティア入会しながらかり出され

ボランティアセンターだより

ボランティアセンターだより

主屋 会社人間で定年まで何も社会にお返ししていない。ボランティアスクールに参加して、個人活動から現在では痴呆性老人のお世話をしているステッキの代表として黒一点で頑張っている。 藤 昭和五十年に大阪取引の会と生協の運営委員のCCCという団体に参加していた。その後生協にも有償団体ができて、参加していたが、活動に制限があったので、自分にはあわないように思った。

酒井 七年前有償団体のコーディネーターとして活動しました。企業を背景にした活動なのでいかげんなことではできないという思いで運営してきた。若い人との感覚のズレが生じて、気持ちだけで活動することができないということがわかった。

谷 定年退職後、妻の勧めで通信講座のボランティアコースを受講した。私の場合、理論から先に勉強した。その中で社協に実習先を紹介やレポートの指導をしてもらったことから市社協登録ボランティアとして活動することになった。

山吹 十年前ライオンズクラブで活動していたが、何か自分の求めるところが違ってた。妻の勧めで運転ボランティアを知り現在一豊中アッシュの代表をしていて。寝たきりのお年寄りや障害者を送迎すると、手を併せて拜んでくださる人もいる。困っている人がひとりでもいるかぎり頑張りたいと考えている。人を増やすために有償化すれば良いという人もいるが、有償でも何もしない人よりは良いが、「ボランティア」という言葉とは別に活動し

藤 夫の転勤で豊中に来て、ボランティアを始めた。自分の親が遠方にいるので親孝行ができないのでこの地域の方のお世話をすることを親孝行の代わりと考

そういう意味では、自発性のボランティアから考えると少し原則から外れているが、男性の場合こういう入り型もあるように思う。 中谷 十年前ライオンズクラブで活動していたが、何か自分の求めるところが違ってた。妻の勧めで運転ボランティアを知り現在一豊中アッシュの代表をしていて。寝たきりのお年寄りや障害者を送迎すると、手を併せて拜んでくださる人もいる。困っている人がひとりでもいるかぎり頑張りたいと考えている。人を増やすために有償化すれば良いという人もいるが、有償でも何もしない人よりは良いが、「ボランティア」という言葉とは別に活動し



左から藤井さん、竹内さん、土屋さん

主屋 我々の仲間も有償なからお断りという人が多い。名前も有償ボランティアではなく「有償奉仕員」とか別にすればうまくいくように思う。

中谷 子どもから手が離れて自分ができることをと模索していたが、ボランティアスクールの「先ず家庭を大切に、あいている時間を困っている人のために登録して下さい。」という言葉が一番自分の気持と一致した。

藤 ただ、足をだしてまでボランティアをするのはという人もいるが負担にならない程度にすることが大切とおも

藤 今、校区ボランティアが育成されているが、これからはボランティアセンターと一体となつてうまく活動できればと考えている。 谷 校区だから良い面と悪い面(ライバシーなど)がある



前田さん

ボランティアレポーター訪問記

桜井谷デイサービスセンターは、平成6年4月に虚弱老人を対象にした市の第五番目の通所施設として建設されました。中国自動車道をはさんで北側にあり、近くに千里川がながれています。 周囲

には、高い建物もなく、とても明るく清潔な感じでした。職員もベテランらしく大変お年寄りの接し方にも温かさを感じました。 三階の中央あたりにはステンドグラスがはめこまれたコーナーがあり、業者からの介護用品が展示されていました。

近々、私達市社協登録グループ「小さな手」の作品も展示される予定で、多くの寝たきりや痴呆など介護でお困りの方々の手に届くよう願っています。

お知らせ

- 日時 十月十六日(日) 九時から十六時
- 場所 市民会館
- 内容 講演、車イスアイマスク体験コーナー等
- 日時 十月二十二日(土) 十二時から十六時
- 場所 能勢町
- 内容 講演会、北摂のボランティアパネル展示等
- 日時 十月三十日(日) 十時から十六時
- 場所 万博公園
- 内容 ボランティアショップ、各種コーナー等

問合せ 豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター 登八四八(一〇〇〇)

編集後記

昨年の冷夏に代わる今世紀一番の連日の猛暑、観測史上最悪となった少雨による渇水。自然を征服できるかのように錯覚する不適な人間の驕りに対する挑戦ではないでしょうか。 このさなか、今年も青少年サマーボランティアスクールの展開、参加者の熱い思い、あふれる若さ、体験実習のエネルギーに圧倒されました。これに負けてはならないと、私達登録ボランティアも厚生省のボランティア活動振興指針に対して活動のきっかけ、生き甲斐、無償性について大いに語りました。そして今回はもっと面的に小地域ボランティア活動を推し進めるための講座を取り上げました。期待したいものです。(T・Y)

